

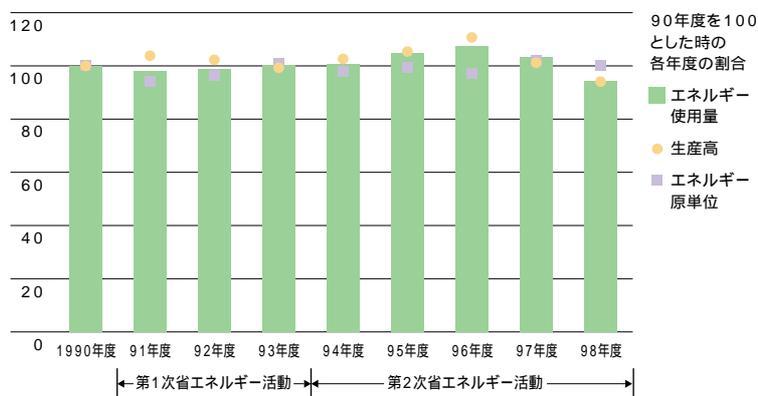
省エネルギー・省資源対策

省エネルギー対策

省エネルギー活動

クボタでは、1991年より第1次省エネルギー活動を推進し、第2次活動(1994～1998年度)では、エネルギー原単位を1993年度比5%以上削減を目標に活動しましたが、環境改善設備設置、生産設備の更新・増強等によるエネルギー使用量の増加、生産量の減少等により、エネルギー原単位は1%の削減にとどまりました。

全社のエネルギー使用量推移 (1990年度を100とした時の各年度の割合)



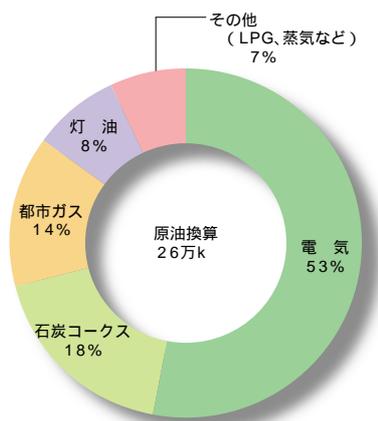
エネルギー使用量の削減

1998年度のエネルギー使用量は原油換算で26万kℓとなりました。

省エネルギーに向けた具体的な取り組みとしては、大型熱交換器運転技術や廃熱利用コンバインド・コージェネレーションシステムなど大型キューボラ廃熱回収技術、自動自己焼鈍(セルフアニーリング)技術、セメント製品の養生・乾燥炉の乾燥技術と廃熱回収技術、塗装ラインの廃熱回収技術、高速機械加工技術などの導入を図りました。

恩加島工場では、ダクティルセグメントの溶解工程における電気炉の使用電力量低減をめざして、溶解方法や作業方法の改善に取り組みました。その結果、電力を中心に大幅な省エネルギーを達成し、資源エネルギー庁長官賞を受賞しました。

1998年度全社のエネルギー種類別使用量



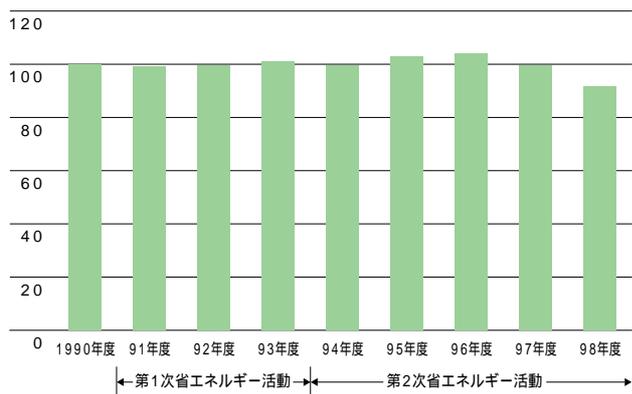
CO₂ 排出量の削減

1998年度のCO₂排出量は炭素換算で16万トンとなりました。

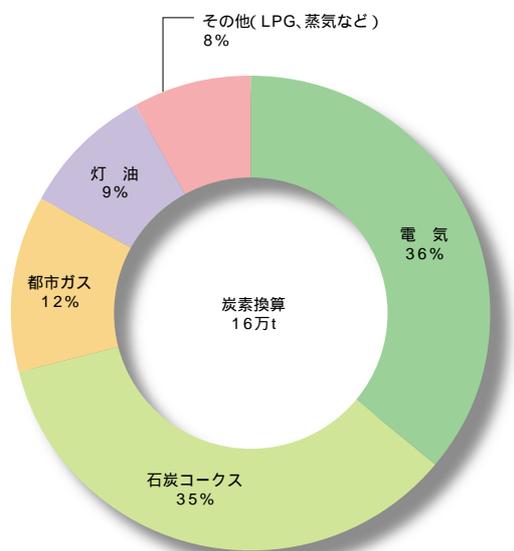
COP3で定められた温室効果ガス排出量を1990年度比2010年6%削減

減する目標に対し、省エネルギー活動等により、CO₂排出量は8%低減しました。今後も省エネルギー活動等により、目標値を維持していきたいと考えています。

CO₂ 排出量推移 (1990年度を100とした時の各年度の割合)



1998年度全社のCO₂ 排出量

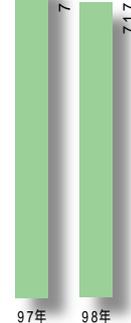


省資源対策

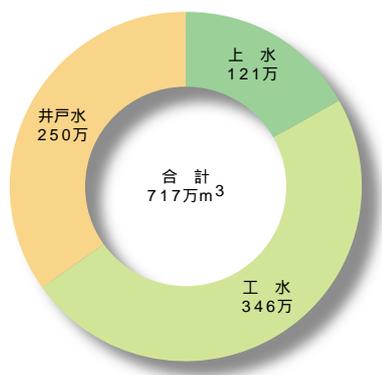
水資源の有効利用

クボタでは、限りある資源「水」を有効利用するため、水の使用量削減に取り組んでいます。排水のリサイクル、中水利用などを推進した結果、1998年度における受水量は717万m³と前年度比8%削減となりました。今後もさらに節水と水のリサイクルに努めます。

水使用量推移 (万m³)



1998年度水使用量内訳



物流段階での環境保全対策

モーダルシフトの推進

物流段階におけるCO₂やNO_xの排出量を削減するため、自社製品の輸送をトラックから鉄道・トラック複合輸送システムに転換するモーダルシフトを推進しています。1998年度のモーダルシフト率は10%で、今後もさらにこの比率を高めていきます。

加えて、直送・集約化による輸配送の効率化や梱包・荷姿改善による廃棄物削減により、物流段階で発生するCO₂排出量を前年比672トン(約6%)削減しました。

梱包用発泡スチロールの削減

発泡スチロールや発泡ウレタンは、かさばる・処理が容易でないといった廃棄上の問題があります。電装機器事業部では、量産製品用に使用していたこれらの梱包材を全廃しました。最終的には、すべての新製品の梱包材を、段ボールなど環境負荷のより少ない材料や、繰り返し使用できる通い箱への転換を進めています。



クボタデジタル台はかり



毎月10トントラック300台分の出荷を貨車輸送に転換(小田原工場)



排気ガス削減へ、複合輸送システムを推進



改善前(発泡スチロール梱包)



改善後(段ボール梱包)

エンジン停止キャンペーン

製品出荷車両や原材料・資材の納入車両、社用車など、年間延べ数10万台の車を使用しています。そこで、エンジンの空ふかしによる大気汚染や騒音・振動を防止するため、「駐車中のエンジン停止キャンペーン」を実施しています。従業員はもちろん、協力会社に至るまで周知し、推進しています。



エンジン停止キャンペーン推進ポスター

オフィスでの環境対策

事務用品のグリーン購入

1996年にグリーン購入ネットワークに加盟し、環境への負荷の少ない製品を優先的に購入するグリーン購入を推進しています。現在は事務用品などを主体として、グリーン購入に取り組んでいますが、今後は、製品に使用する部品や材料などへの取り組みをさらに拡大していきたいと考えています。

再生紙の利用・分別回収

オフィスで消費される大量の紙資源を削減するため、コピー紙をはじめ名刺や社内報に至るまで全社的に再生紙の利用を推進し、1年で立木約2,400本相当の保護に寄与しています。

また、廃棄にあたっては分別回収を徹底し、現在、年間120トンの新聞、雑誌、段ボールなどを回収しています。

排水のリサイクル

本社新館ビルでは食堂・厨房排水40m³/日をセラミック分離膜で処理して、トイレの洗浄水などの中水として再利用しています。

事務用品購入リストの例

品名	特徴
OA用紙	古紙100% 白色度70
名刺	古紙100%
カタログ	古紙100%
トイレトペーパー	古紙100%
FAX用紙	回収紙の裏面を使用
シャープペン、ボールペン、蛍光ペン、修正液、のり	キャップ、軸、容器等に再生樹脂を使用



社内に設置されたリサイクルボックス



クボタセラミック分離膜による中水処理(本社新館ビル)